

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 5月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

| 劇場 | 演目 | 台本 | スチール | プログラム | ポスター |
|----------|---------------------|----|------|-------|------|
| 歌舞伎座 | 『梶原平三誉石切』 | ○ | | | |
| | 『義経千本桜 吉野山』 | ○ | | | |
| | 『新皿屋舗月雨暈 魚屋宗五郎』 | ○ | | ○ | ○ |
| | 『壽首我対面』 | ○ | | | |
| | 『伽羅先代萩 御殿・床下・対決・刃傷』 | ○ | | | |
| 新橋演舞場 | 『四変化弥生の花浅草祭』 | | | | |
| | 『第九十三回東をどり』 | | | ○ | |
| 明治座 | 『月形半平太』 | ○ | | | |
| | 『榎茂都三人連獅子』 | | | ○ | ○ |
| | 『通し狂言南総里見八犬伝』 | ○ | | | |
| 国立代々木競技場 | 『氷艶HYOEN 2017 破沙羅』 | | | ○ | ○ |
| 松竹座 (大阪) | 『辰鴛色相肩』 | ○ | | | |
| | 『金幣猿島郡』 | ○ | | ○ | ○ |
| | 『新版歌祭文 野崎村』 | ○ | | | |
| | 『怪談乳房榎』 | ○ | | | |
| 地方巡業 | 『新・親バカ子バカ』 | ○ | | | |
| | 『御目見得口上』 | | | ○ | |
| | 『お染風邪久松留守』 | ○ | | | |

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

| | | |
|--------------|----|--|
| 紀伊國屋ホール | 4月 | 劇団青年座『わが兄の弟』プログラム、台本 |
| 国立劇場小劇場 | 4月 | 『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会』プログラム |
| 国立劇場大劇場 | 4月 | 劇団前進座『裏長屋騒動記』プログラム |
| シアターX | 4月 | 劇団俳優座『北へんろ』プログラム、台本 |
| シアタークリエ | 4月 | 『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』プログラム |
| 自由劇場 (四季) | 4月 | 劇団四季『ブラックコメディ』プログラム |
| 新国立劇場小劇場 | 4月 | 『城塞』プログラム |
| 青年座劇場 | 5月 | 『山路和弘江戸怪奇譚 ムカサリ』プログラム、台本 |
| スペース・ゼロ | 4月 | オペラシアターこんにゃく座『タンゴ』プログラム |
| 世田谷パブリックシアター | 4月 | りゅーとびあプロデュース『エレクトラ』プログラム |
| 帝国劇場 | 4月 | 『王家の紋章』プログラム |
| 中野ザ・ポケット | 5月 | イツフォーリーズ『ナミヤ雑貨店の奇蹟』プログラム、台本 |
| 日生劇場 | 4月 | 『紳士のための愛と殺人の手引き』プログラム |
| 俳優座劇場 | 5月 | 俳優座劇場プロデュース『十二人の怒れる男たち』プログラム |
| 博品館劇場 | 4月 | Under Groove 15 th anniversary show『男祭り!!』プログラム 『イケメン戦国 真田幸村編』プログラム 『23階の笑い』プログラム |

(新着資料案内 他社演劇公演資料 続き)

| | | |
|------------|----|--|
| 博品館劇場 | 5月 | 『Bridge of the Rainbow』プログラム 『ダンスカンタービレ』プログラム |
| 文学座アトリエ | 5月 | アトリエの会『青べか物語』台本 コマエンジェル『幾星霜 OKAWARI』プログラム |
| 三越劇場 (日本橋) | 4月 | 『竜小太郎陽春特別公演』プログラム |
| | 5月 | 『歌会』プログラム |
| 早稲田小劇場どらま館 | 4月 | 劇団若獅子『夢の澤正』プログラム、台本 |

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

| タイトル | プログラム | プレス | ポスター | スチール写真 | 台本 |
|-------------|-------|-----|------|--------|----|
| 『ピーチガール』 | ○ | ○ | ○ | | ○ |
| 『家族はつらいよ 2』 | ○ | ○ | ○ | | ○ |

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | |
|---|---------------------------------|
| 『夜に生きる』 | 『シネマ歌舞伎 東海道中膝栗毛 (やじきた)』 |
| 『ブラッド・ファーマー』 | 『20世紀・ウーマン』 『夜明け告げるルーのうた』 |
| 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー：リミックス』 | 『メッセージ』 |
| 『マンチェスター・バイ・ザ・シー』 『スプリット』 | 『パーソナル・ショッパー』 |
| 『カフェ・ソサエティ』 | 『ノー・エスケープ 自由への国境』 『サクラダリセット 前篇』 |
| 『サクラダリセット 後篇』 | 『追憶』 『モアナと伝説の海』 |
| 『ゴースト・イン・ザ・シェル』 | 『劇場版 FAIRY TAIL -DRAGON CRY』 |
| 『帝一の國』 | 『ひるなかの流星』 『WE ARE X』 |
| 『ワイルド・スピード ICE BREAK』 | 『パッセンジャー』 |
| 『ジャッキー ファーストレディ 最後の使命』 | 『アサシン クリード』 |
| 『映画ドラえもん のび太の南極カチコチ大冒険』 | 『SING シング』 |
| 『LION ライオン 25年目のただいま』 | 『ラビング 愛という名前のふたり』 |
| 『ボヤージュ・オブ・タイム』 | 『グレートウォール』 『バーニング・オーシャン』 |
| 『名探偵コナン から紅の恋歌 (ラブレター)』 | 『夜は短し歩けよ乙女』 |
| 『映画クレヨンしんちゃん 襲来!! 宇宙人シリリ』 | 『美女と野獣』 |
| 『3月のライオン 前編』 | 『3月のライオン 後編』 |
| 『チア☆ダン 女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話』 | |
| 『映画 かみさまみならい ヒミツのここたま 奇跡をおこせ♪テップルとドキドキここたま界 映画たまごっち ヒミツのおとどけ大作戦!』 | |

■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 『AAC』2017年Vol.92 | 『ラ・アルプ』2017年6月号 |
| 『Confetti』2017年JULY Vol.151 | 『演劇映像』2017年58号 |
| 『DRAMAかながわ』2017年(75号) | 『演劇界』2017年7月号 |
| 『SAKURA TIMES』Vol.23-31 | 『歌舞伎 研究と批評』2017年(58) |
| 『SePT倶楽部 information』 2017年5月号 | 『喝采』2017年9月 |
| 『TICKETS GO!GO!』Vol.68 | 『国立演芸場公演ガイド』平成29年5月号,6月号 |
| 『あぜくら』2017年5月号 | 『前進座友の会会報Paru (パル)』95号 |
| 『えんぶ』2017年6月号 | 『大向う』平成29年6月号 |
| 『ほうおう』2017年7月号 | 『伝統文化新聞』2017年(132号) |
| 『シアターガイド』2017年7月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成29年6月号 |
| 『テアトロ』2017年6月号 | 『日本照明家協会誌』2017年5月号 |
| 『ミュージカル』2017年5月-6月号 | 『日本舞踊』69巻6月号 |
| | 『邦楽の友』平成29年6月号 |

(新着資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『NFCカレンダー』2017年6月号
『NFCニューズレター』2017年4月-6月号
『SCREEN』2017年7月号
『アンドレ・バザン研究』1号
『エキブ・ド・シネマ』2017年No.215
『キネマ旬報』2017年6月上旬特別号,6月下旬特別号
『シナリオ』2017年6月号,7月号
『シナリオ教室』2017年6月号
『ドラマ』2017年6月号
『ロケーションジャパン』2017年6月号
『映画テレビ技術』2017年6月号
『映画芸術』2017年春号(459号)
『映画撮影』2017 May No.213
『映画時報』2017年6月号
『映画秘宝』2017年7月号
『衛星劇場プログラムガイド』2017年6月号
『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No.35
『松竹(社報)』2017年(199号)
『日経エンタテインメント!』2017年6月号

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『生誕100年 映画監督・小林正樹プレス集』 世田谷文学館
『山田洋次監督 連載記事』
『映画監督 小林正樹』 小笠原清+梶山弘子(編著) 岩波書店
『さくら伝説 松坂慶子写真集』なかにし礼(原作+監修)、毛利充裕(撮影)フォーブリック(発行)、バウハウス(発売)
『黒木華写真集 映画『リップヴァンウィンクルの花嫁』より』菊池修(撮影)、岩井俊二(監修+デザイン)リトルモア

≫≫ 資料提供 (2017年4月~5月)

※許可を得た方のみ掲載しております

展示

- 菊田一夫記念館(岩手県奥州市) 常設展示コーナー
映画『鐘の鳴る丘』ポスター(複製・2枚)を、前年度に引き続き展示に提供

出版

- 『美しいキモノ2017年夏号』 2017年5月20日 ハースト婦人画報社
花柳章太郎スチール写真(『金色夜叉』昭和13年5月国際劇場上演)を図版として提供
- 『松竹(社報)199号』 2017年5月22日 松竹株式会社
『松竹社報』第160号(1963年8月)を記事に提供

プログラム掲載

- 「第33回四国こんぴら歌舞伎大芝居 五代目中村雀右衛門襲名披露」2017年4月8日~23日 金丸座
三代目中村雀右衛門スチール写真(『籠釣瓶花街酔醒』大正8年3月明治座上演・『葛の葉』・『本朝廿四孝 奥庭』・『本蔵下屋敷』)を公演プログラムの記事に提供
- 「團菊祭五月大歌舞伎 七世尾上梅幸二十三回忌・十七世市村羽左衛門十七回忌追善」2017年5月3日~27日 歌舞伎座
「團菊回想録」(『演芸画報』明治42年6月増刊号)表紙を公演プログラムの記事に提供
- 「明治座五月花形歌舞伎」2017年5月3日~27日 明治座
映画スチール写真『月形半平太』を公演プログラムの記事に提供

放送

- 『美の巨人たち 平櫛田中「鏡獅子」』2017年3月25日 22:00~22:30 テレビ東京
歌舞伎映画『鏡獅子』映像の一部及び六代目尾上菊五郎スチール写真(『鏡獅子』)を提供
- 『ニュースウォッチ9』2017年5月3日 21:00~22:00 NHK総合テレビ
映画スチール写真『情炎』を憲法記念日の特集VTRの中に提供
- 『疾風怒濤の“KABUKI者”市川海老蔵にござります。外伝 第二幕』2017年5月7日 19:00~20:54 BS日テレ
演劇ポスター(平成11年1月浅草公会堂上演)を提供
- 『開運!なんでも鑑定団』2017年5月9日 20:54~21:53 テレビ東京
歌舞伎映画『鏡獅子』映像の一部をゲストの尾上右近さんを紹介するVTRの中に提供

*****「東京都立多摩図書館見学会」に参加して*****

日時：平成 29 年 4 月 27 日 14 時～16 時

主催：専門図書館協議会

場所：東京都立多摩図書館

参加者：酒井 恵



東京都立多摩図書館の外観

1. はじめに

建物の老朽化と資料の収蔵場所の不足により、これまでであった立川から西国分寺へと移転し、今年の 1 月 29 日にオープンした「東京都立多摩図書館」。普段は入れないバックヤードを見られるということで、見学会に参加した。

東京都立多摩図書館の最寄り駅は JR 中央線・武蔵野線の西国分寺駅だ。初めて向かう場所のため、同図書館のアクセス徒歩マップを見ながら駅の改札出口へと向かうと、改札の向こう側に「多摩図書館へはこちら」という旨の大きな案内が目飛び込んできた。曲がり角ごとに立てられている案内

に導かれるまま、7 分ほどでスムーズにたどり着いた。3 階建ての白い横長の建物の正面玄関を入れば、一面のガラス張りの窓から差し込む陽の光と、木の温もりを感じさせる空間が広がる。まるで木漏れ日みたい、と考えながら 2 階の「セミナールーム」に向かった。そこで、職員の方から図書館の概要などを説明していただいた。

2. 東京都立多摩図書館とは

“森の中の本の森”をテーマにした東京都立多摩図書館は、都立武蔵国分寺公園の西に建てられている。鉄骨鉄筋コンクリート地上 3 階建て敷地面積約 7,200 平方メートル、延べ床面積は約 8,970 平方メートルで、立川時代の旧多摩図書館の約 2 倍。1 階には開架フロアと、地元のパン屋が入ったカフェスペース、視覚障害者等に対して、対面録音や録音資料の作成などを行う音訳室のほか、都の観光発信の一つとして、都内の各自治体が発行する観光情報資料ラックを設置している。2 階には最大 200 人が入れるセミナールームなどを備えている。開架フロアには、227 席＋パイプ椅子 40 脚分の閲覧スペースがあり、自分の PC を持ち込んでもよい。開館時には 1 日平均 600 人の来館があったという。開館後も 40 脚のパイプ椅子の増設や、試験勉強をする学生の利用が多かったので、新たに社会人優先席を設けるなど、閲覧スペースを快適に過ごせるように様々な工夫を随時行っているという。

東京都には港区・広尾にある「都立中央図書館」とこの「都立多摩図書館」の二つの都立図書館があり、一般の人たちへの調査研究に対するサービスのほかに、区市町村立図書館や学校への支援サービスも行っている。ビジネス情報、法律情報、健康・医療情報及び都市・東京情報を重点的なサービスの柱にしている中央図書館に対して、この多摩図書館は、「東京マガジンバンク」と「児童・青少年資料サービス」という二つの機能を柱にサービス分担している。今回、リニューアルした多摩図書館は、285 万冊を収蔵することが可能になったので、書庫が満杯になりつつある中央図書館の資料を、毎年受け入れていくのだという。

「東京マガジンバンク」として、公共図書館としては国内最大級の雑誌所蔵を誇る多摩図書館には、約 1 万 7,000 タイトル、100 万冊に及ぶ雑誌がある。国内外の一般誌をはじめ、女性誌、鉄道誌、社内誌などの収集に特に力を入れているほか、“雑誌”をテーマにしたワークショップなども職員が企画して行っているという。もう一つの柱である子供の読書活動を推進する「児童・青少年資料サービス」。開架の閲覧室には、中高生を中心とした利用者用の資料 2 万冊を置く「青少年エリア」、子供の読書等の関連資料 1 万冊がある「児童研究書エリア」、担当職員が厳選した約 1 万 4,000 冊の絵本が揃う「こどものへや」、さらには靴を脱いで、コルクの床に座って、親子や友達同士で絵本を楽しむことができる「えほんのこべや」などが充実している。この他にも、子供の読書活動に携わっている人たちからの相談を受けたり、調査研究や、学校での読書活動への支援をしたりと様々な取り組みを行っている。

3. 閉架書庫ツアースタート

(1) 3 階・閉架書庫

誰でも閲覧することができる 1 階の開架フロアとは別に、2 階と 3 階にはスタッフ以外は入れない 275 万冊収蔵可能な五つに区切られた閉架書庫がある。十数名ずつ 2 グループに分かれて、3 階の閉架書庫から順に巡る。書庫はすべて環状になった廊下の内側に集約されて作られている。日差しも入らないので、資料が日焼けしない上、日光による急激な温度変化の影響を受けにくいので、閉架書庫内の温度と湿度を一定に保ちやすい。この構造は“魔法瓶構造”と呼ばれるようだ。各書庫は防火扉で仕切られている。ひんやりした書庫の中には、多くの電動書架が整然と並ぶ。3 階には主に、児童・青少年用の図書、山本有三文庫、大型本、中央図書館から受け入れている資料、立川での旧多摩図書館時代に入りきらなくなり外部倉庫に預けていた資料などが保存されている。

作家・山本有三が生前使用していた資料（図書約 1 万 3,500 点、雑誌約 300 誌）が寄贈された「山本有三文庫」。ツアーでは『小泉八雲全集』や『世界地理風俗大系』など様々な資料が並ぶ書架の前で、芥川龍之介の直筆サインが書かれた『羅生門』を見せていただいた。著名人から献本された直筆サイン入り図書以外にも、山本本人が直接メモを書き込んだ資料を見ることができるといふ。

児童資料の中には昭和初期から戦後にかけて活躍した「街頭紙芝居」も所蔵されている。子供たちの最大の娯楽の一つだった街頭紙芝居は、自転車の荷台に舞台をのせた紙芝居屋さんが路地や公園にやって来て、子どもを集めては飴やせんべいなどの駄菓子を売り、そのお菓子を買った子どもだけが冒険活劇などの描かれた紙芝居を見るこ

とができた。戦前の街頭紙芝居は空襲で多くが焼けてしまい、戦後のものもテレビの普及とともに次第に廃れ、残っているものは数少ない。多摩図書館で所蔵している14タイトルのうち、今回見せてもらったのは、『ガンマ王子』という作品だった。紙芝居は手作り、表には絵、裏には手書きの文字が並び、繰り返し使用に耐えられるよう、紙の上からニス塗りがされていた。請求すれば、どれも実際に手に取って見ることができる。

書庫の中でも圧巻なのは、書庫内の高い天井近くまでそびえる10段の書棚の電動書架。上から3段目までは資料の落下防止のために紐がかけられていた。手の届かない場所へは、脚立のほかに電動の昇降機も導入され、本がスムーズにとれるようになっていた。

(2) 2階・閉架書庫

2階には雑誌、マイクロフィルム、16ミリフィルムが収められている閉架書庫と、傷んだ資料の補修をするためのワークルームがある。雑誌の閉架書架は、ジャンルやサイズ別ではなく、タイトル順(数字→アルファベット→五十音)で整然と並ぶ。通常の雑誌とは別に、「創刊号コレクション」もある。このコレクションは、明治時代から現代まで約5,300誌6,600冊にも及ぶ雑誌の創刊号だけを集めているもので、発行された年代順に並んでおり、その時代その時代を如実に映し出している。創刊号コレクションに限らず、多摩図書館の雑誌は、古い雑誌でも製本せずそのままの形状で保存しているので、紙質や色遣いなど、発行当時の時代を感じることも出来る。新聞のマイクロフィルムなどを保管する書庫と、平成21年に旧都立日比谷図書館から移管された約9,400巻の16ミリフィルムの保存書庫も併設されている。この二つのフィルム保存書庫は、ほかの閉架書庫が温度18~22℃、湿度45~55%で管理しているのに対して、温度21℃以下、湿度30~40%にしているという。当館も地下書庫を増設した昨年の夏から、現在まで、職員が温度と湿度を測って管理しているので、大いに参考になった。2階・3階の閉架書庫は、魔法瓶構造以外にも“多摩の地域性”を活かした様々な工夫がほどこされていた。例えば、一部の電動書架の壁が、多摩産材の杉を使用した木目調になっていたり、書庫の壁や柱に多摩産材を30%使った“木織セメント板”が使われていたり。この木織セメントとは、木材を薄く切削した木のチップをセメントで固めたもので、周りの湿度に応じて湿気を吸収したり放出したりすることで室内の環境をより良い状態で保つことができるので、資料にも優しいのだという。

ところで資料の利用頻度が多いほど、誤った場所に戻ってしまう誤配のリスクは高まるが、多くの職員の方や出納スタッフの方が所蔵資料に触れる多摩図書館での誤配予防策を伺った。資料を出すときは、利用する資料の左側の資料を倒したり、「利用中」と書かれた札を差す。戻すときは、差した札を回収して資料をその位置に戻す、倒してあった左側の資料を元に戻すという手間が掛けられていた。

(3) 1階・開架フロア内 開架書架

閉架書庫に続いて、1階の開架の閲覧室に連なるガラス張りの「開架書庫」を見学した。この「開架書庫」は、開架フロア中央にある「資料お渡し・返却カウンター」で入室手続きを行えば、高校生以上ならば、誰でも入って自分で資料を探せるので、自分のペースで好きなものを心ゆくまで堪能できる。この書庫には、絵本約3万冊、この1年間に収集した児童書、約4,500冊がある。読んで楽しむ以外に、保護者や、学校の図書館司書、先生など、子供の読書や学習に携わる人たちの選書などの参考資料としても役立てられている。このほか、継続収集されている雑誌6,000タイトル中4,500タイトルの最新1年分も閲覧できる。

4. 開架フロア

見学会終了後に開架フロアも利用してみた。入館手続きをすれば誰でも入って資料を見ることができる開架フロアは、1階の入口左手にある。まず、総合案内で手続きをしてから開架フロアに入ると、右手にはガラス張りの「開架書庫」、左手には展示スペースがある。見学時は、移転オープン記念展示『雑誌と絵本で世界を知る』が開催され、テーマに沿った資料が集められていた。『ぐりとぐら』や『スーホの白い馬』など何ヶ国語にも翻訳され出版されている絵本を読み比べたり、『金をつむぐこびと』や『ギルガメシュ王ものがたり』など、世界各国の絵本を手にとったりして、各地の文化や風土に思いを馳せた。入口をそのまま真っ直ぐ進んだ先にある広大な開架フロアは、左半分を“雑誌エリア”、右半分を“児童・青少年エリア”として配されていた。児童・青少年エリアを右奥に進むと、先述した「こどものへや」。そこでは、ちょうど1組の親子が読書を楽しんでいた。更にその奥にある「えほんのこべや」には誰もいなかったが、子供たちが自分で読みたい本を選んで、木の温もりを感じる部屋で過ごす情景が目にと浮かんできた。雑誌エリアには、日本語雑誌、外国語雑誌、新聞など併せて1,500タイトルが揃う。全面のガラス張りの閲覧室から見える新緑を眺めながら、自由に閲覧できる。入館した際に気になっていた1階のカフェスペースに併設されたパン屋キニヨンで、スコーンを買って帰ったが、翌朝に食べても本当においしかった。こんなおいしいパン屋も併設された緑豊かな新しい図書館で、ゆったりと過ごす。そんな贅沢な休日過ごすのもいいかもしれない。

5. 東京都立多摩図書館データ

【所在地】〒185-8520 東京都国分寺市泉町2-2-26

【電話番号】042-359-4020

【開館時間】10時~21時(土日祝休日は17時半まで)

【休館日】毎月第1木曜日(祝休日または、ほかの休館日にあたる際は第2木曜日)と、月1回の保守点検日、12日程度の特別整理期間、年末年始

【ホームページ】<http://www.library.metro.tokyo.jp/Default.aspx>

【Facebook】<https://ja-jp.facebook.com/tmlibrary>

●所蔵資料のご紹介 -月丘夢路さんの宝塚歌劇団時代のプログラム-●

本年5月3日、月丘夢路さんが95歳で逝去されました。戦前は宝塚歌劇団で娘役として活躍し、退団後は大映・松竹・日活で映画女優として人気を得、テレビや舞台へも多く出演しました。当館でも出演作のステールやプログラムなど、関連資料を所蔵しておりますが、この中より宝塚歌劇団時代の資料をご紹介します。

月丘夢路さんは昭和12年に宝塚音楽歌劇学校に入学しており、当館はこの2年後にあたる昭和14年11月東京宝塚劇場「宝塚少女歌劇雪組公演」のプログラムを所蔵しています。このプログラムの配役に、小さな役で出演している月丘夢路さんの名前が見えます(写真1「雀」役、右から5番目)。また、4年後の昭和18年1月東京宝塚劇場「宝塚歌劇雪組公演」のプログラムも所蔵していますが、この公演の『明るい町強い町』『コーロア物語』に月丘夢路さんは出演しており、プログラム(写真2)の表紙はイラストの月丘夢路さんです。図書「宝塚歌劇五十年史」174頁にほぼ同じアングルと扮装の写真がありますが、役名の記載はありません。ただ、図書「宝塚歌劇五十年史 別冊」162頁に昭和17年11月宝塚大劇場雪組公演『コーロア物語』の舞台写真が載っており、この舞台写真の扮装と「宝塚歌劇五十年史」174頁の写真の扮装が類似しているため、プログラムの表紙のイラストも『コーロア物語』「媚珠」役の月丘夢路さんではないかと推定できます。小さな役で舞台に出ていたそのわずか4年後には表紙を飾るほどの大きな役を演じていた月丘夢路さん。類い稀なる美貌で有名でしたが、この表紙のイラストからもその際立った美しさが伝わってきます。

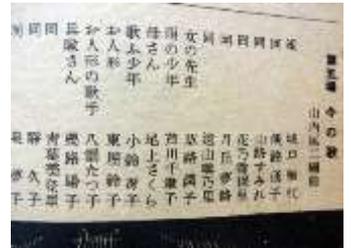


写真1



写真2

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々 (了承を得た方のみ掲載)

2017 (平成29) 年5月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

- 株式会社歌舞伎座
- 歌舞伎座サービス株式会社
- 歌舞伎座舞台株式会社
- 松竹株式会社
- 松竹衣裳株式会社
- 株式会社松竹映像センター

- 松竹音楽出版株式会社
- 松竹芸能株式会社
- 株式会社松竹サービスネットワーク
- 松竹ブロードキャスティング株式会社
- 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます



● 交通案内 ●
 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

● 利用案内 ●
 ● 開館時間
 平日午前10時～午後5時
 休館日
 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。

● 入館料 ●
 無料
 ● 閲覧 ●
 館内閲覧のみ

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館

〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア3階 / TEL 03-5550-1694

公式 HP ● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

公式 Facebook ● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>